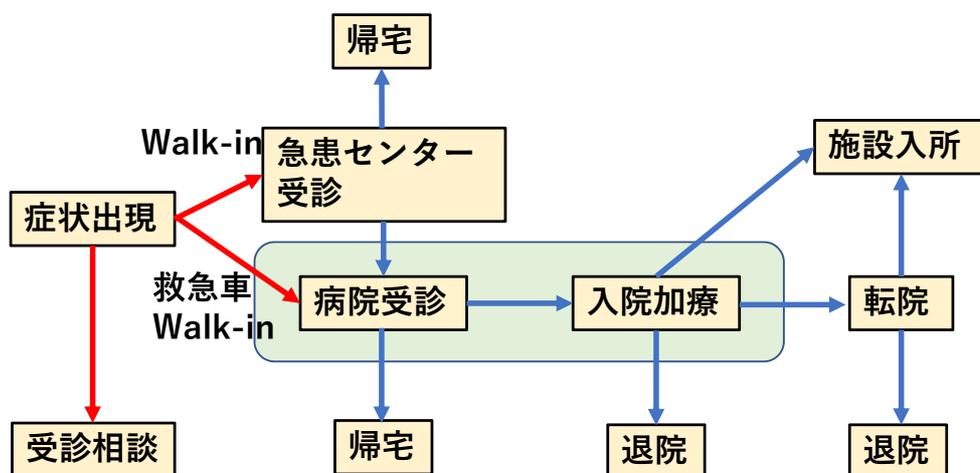


救急医療に関する問題点

仙台市立病院 救急科
山内 聡

1

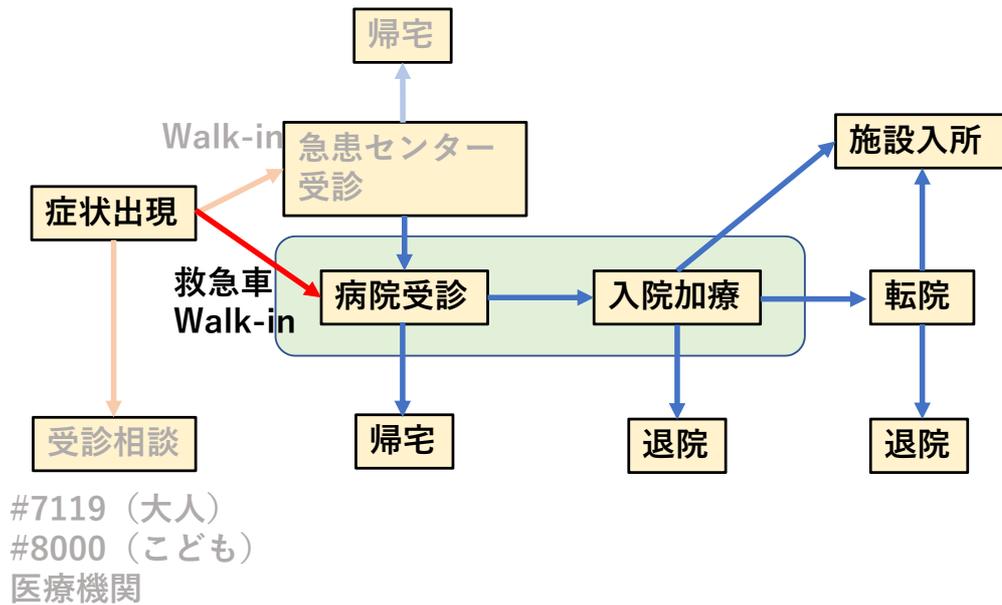
救急医療の流れ（時間外）



#7119 (大人)
#8000 (子ども)
医療機関

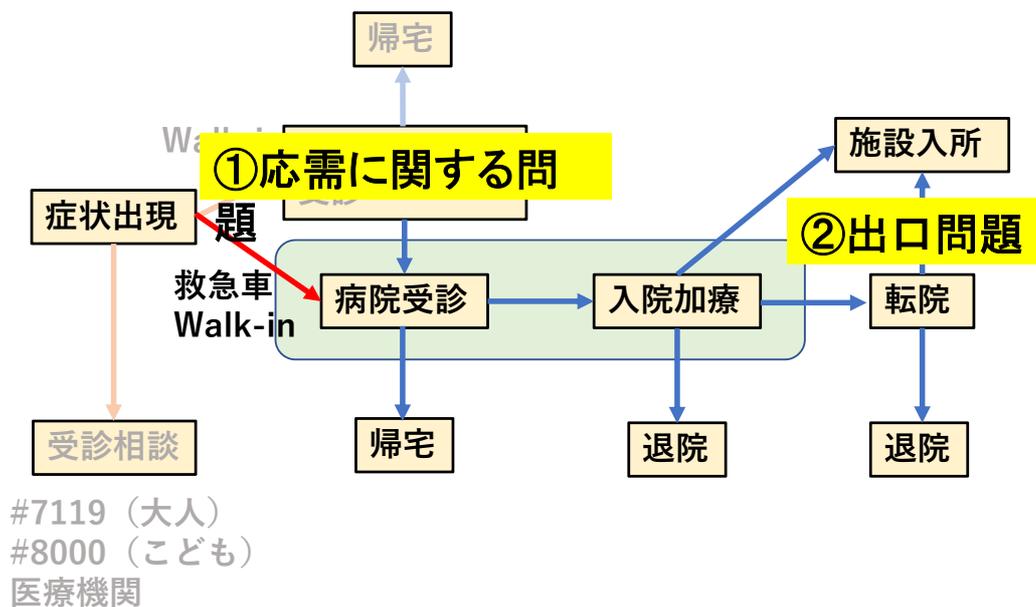
2

救急医療の流れ（時間外）



3

救急医療の流れ（時間外）



4

①時間外に救急を受けることの難しさ

- ・何科の疾患か分からない
- ・専門医がない
- ・検査ができない
- ・患者背景が分からない
- ・一人暮らし／家族がない
- ・帰宅出来なそう

5

①時間外に救急を受けることの難しさ

- ・何科の疾患か分からない
- ・専門医がない
- ・検査ができない
- ・患者背景が分からない
- ・一人暮らし／家族がない
- ・帰宅出来なそう

救急医・総合診療医
の育成

病院の体制

6

① 応需に関する解決策

- 救急医療の分業
 - #7119/#8000の啓蒙、オンライン診療の普及→病院の負担軽減
 - 救急病院内での役割分担(専門医療・総合診療・後方支援)
- Generalist(救急医・総合診療医)の育成
- Dx化
 - オンライン診療
 - 消防情報のDx化による効率化
 - 後方支援のDx化による情報共有

7

救急医療に対する各病院の役割の基本的なイメージ

	地域で高度な医療を支える柱となる病院				地域包括ケアシステムを支える医療機関	
	高度救命救急センター	救命救急センター	救急病院	専門病院	救急拠点型	地域密着型
重症患者の救急受入れ機能	↕	↕				
脳卒中・心筋梗塞等の高度・専門的な治療、手術機能	↕	↕	↕	↕		
休日・夜間の救急受入れ機能		↕	↕		↕	
サブアキュート機能(軽・中等症患者の救急受入れ機能)					↕	↕
在宅医療の後方支援機能(かかりつけ患者の救急受入れ機能等)					↕	↕
ポストアキュート機能(長期急性期患者や回復期患者の受入れ、治療機能)					↕	↕

②救急の出口対策

- 夜間救急病院が救急医療として受け入れた患者で、専門的治療が不要な患者（誤嚥性肺炎、尿路感染症、脱水、栄養失調）を速やかに地域の病院で受け入れてくれる仕組みが必要
 - 大崎市民病院救急科の平均在院日数；4-5日
 - 仙台市立病院救急科の平均在院日数；15日

9

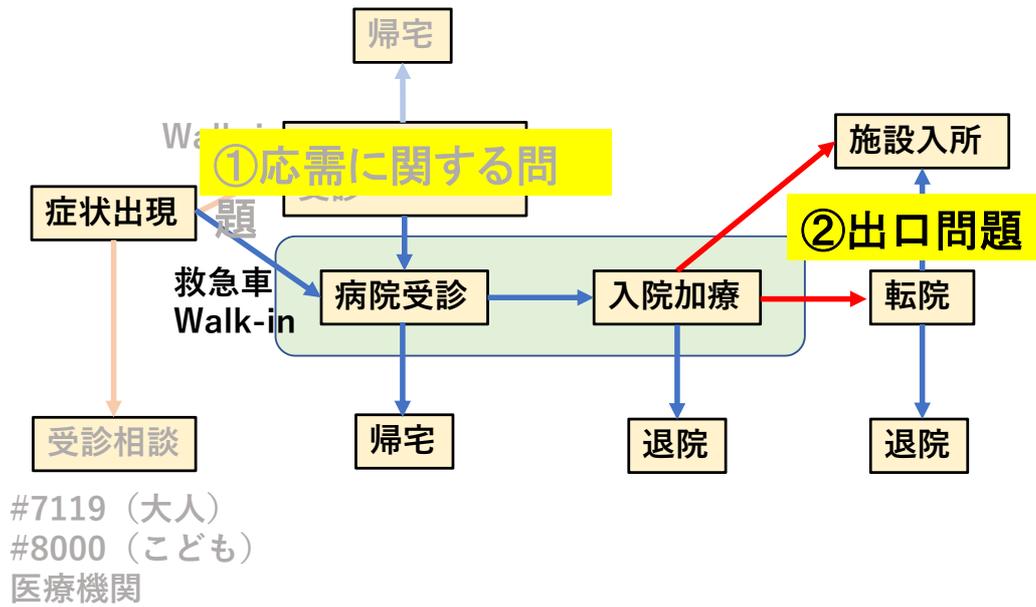
仙台南地域医療連携を考える会



10

医療機関、老健施設と協力し、後方支援（バックベッド）の確保に努めている

救急医療の流れ（時間外）



救急医療の流れ（時間外）

